

銀雪を駆ける選手たち 第69回白銀少年スキー選手権大会

2月22日、神室スキー場で第69回白銀少年スキー選手権大会が開催されました。今大会には金山町からは14名の選手が出場し、総勢50名の選手が日頃の練習の成果を存分に発揮しました。1部女子距離競技2kmでは柴田千那さん(七日町)が6位に、1部男子距離競技2kmでは五十嵐絆鳳さん(七日町)が6位に、2部女子距離競技1.5kmでは柴田楓歌さん(十日町)が6位に入賞するなど、素晴らしい滑りを披露しました。



スキー部の健闘を称える 活躍を祝う会を開催

3月11日、町中央公民館で、新庄南高等学校金山校スキー部と新庄北高等学校スキー部の今シーズンの目覚ましい活躍を称える会が盛大に開催されました。会場には、両校の選手や指導者をはじめ、関係者や保護者ら計87名が出席。冬の厳しい舞台で全力を尽くし、輝かしい成績を収めた選手たちへ、出席者から温かい拍手と激励の言葉が贈られました。佐藤英司町長は「町のスキー競技の歴史においても屈指の好成績を収めていただいた。皆さんの活躍は町民の大きな誇りである」と賛辞を述べました。



映像でつなぐ100年の想い 完成記念上映会に320名が来場

3月8日、町中央公民館で「町制施行100周年記念スピノフ映像完成記念上映会」が開催されました。上映会では町の100年の歩みを振り返る記念映像「金山の道、百年の光。」に加え、金山中学校の全面協力のもと完成したスピノフ映像「りゅうの時間」が初公開され、町内外から320名が来場しました。上映後、来場者からは「思わず涙が出た」「町制100周年の節目にふさわしい素晴らしい素晴らしい映像作品だった」といった温かい感想が多く寄せられました。



◀100周年記念
スピノフ映像
「りゅうの時間」

100周年記念楽曲
「りゅう」▶



3年連続で山形県1位を受賞 県市町村広報コンクール

令和7年度山形県市町村広報コンクールの審査結果が発表され、猟友会を特集テーマに取り上げた広報かねやま12月号が「広報紙部門」で最高賞である「特選」を受賞し、さらに「写真部門」「組み写真部門」で入選1席を受賞しました。特選を受賞した広報紙は全国広報コンクールに推薦されます。受賞は町民の皆さんのご協力があったとのこと。広報活動にご協力をいただいている町民の皆さんに心から感謝いたします。



**まちの
わだい**

身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報・DX推進係 ☎29-5601

町の魅力を世界へ発信 「Kamuro's Moribito」 ツアーを実施

町は最上地域観光推進協議会と連携し、地域独自の価値を伝える「高付加価値インバウンドツアー」の構築に向け活動を続けてきました。このたび、JALパリ支店等の協力により、フランスの旅行エージェントを招いたFAMツアーを実施。「Kamuro's Moribito」をテーマに、木工体験や郷土料理を通じた交流を行い、地域の精神性やライフスタイルを提案しました。参加者からは高い評価をいただき、今後のインバウンド展開に向けた大きな一歩となりました。



取り組みと成果を共有 職員研修及び地域おこし協力隊活動報告会

3月23日、役場町民ホールで金山町職員研修報告会及び地域おこし協力隊員等活動報告会が開催され、町職員による「地域農政未来塾報告」や「インバウンドプロモーション報告」、「中・日・韓建築士協議会報告」をはじめ、地域おこし協力隊3名による活動報告が行われました。報告会には職員や町議会議員をはじめとする約50名が出席し、活発な意見交換が行われました。



▲地域おこし協力隊による発表の様子

羽場地区で御歳灯 炎を囲み地域の絆深める

2月22日、羽場地区で伝統行事である御歳灯が行われました。日中からボランティアの皆さんが雪壁作りや振る舞いの準備にあたり、夕方には多くの住民が集まりました。好天にも恵まれ、御歳灯は18時に参加者全員で手を合わせ、点灯。子どもたちはお菓子をもらって元気に雪遊びを楽しみ、大人は温かいコンニャクや甘酒に舌鼓。揺らめく炎を囲みながら心も体も温まるひとときとなりました。



▲点火式の様子

今村さん・加藤さんが受賞 最上地域共励会で優秀な成績を収める

2月17日、新庄市で最上地域の畜産共励会表彰式が開催され、優秀な成績を収めた生産者が表彰されました。金山町からは、肉用子牛出荷共励会第2部で今村彦也さん(魚清水)が第2位に、牛枝肉共励会で加藤優志さん(谷口)が優秀賞に輝きました。多くの対象農家の中から選ばれた今回の快挙は、日頃の真摯な飼養管理と技術研鑽の賜物です。この度の受賞、誠にありがとうございます。



▲加藤優志さん(後列左から3番目)、今村彦也さん(欠席)

金山スポーツ少年団野球部 安食杯ティールボール種目で初優勝

2月22日、真室川町民体育館で「日本ティールボール協会山形県連盟主催 第11回安食杯」が開催され、金山スポーツ少年団野球部が初優勝を飾りました。新庄最上管内から7チーム約90名が参加し、熱戦が繰り広げられた今大会。選手たちは日頃の練習の成果を存分に発揮し、チーム一丸となって栄冠をつかみ取りました。キャプテンの大山紗空さん(羽場)は「最高の結果を残せてよかったです」と優勝の喜びを語りました。



▲優勝杯や記念品を手にした選手たちと安食誠大会会長(前列右)

かねやま電雪が活動報告会 再エネ普及へ向けた7年半の歩み

2月27日、農村環境改善センターでNPO法人かねやま電雪(小沼正和理事長)の報告会が開催されました。平成30年の設立以来取り組んできたソーラーシェアリングや雪室の運用、中学生との交流など7年半の活動を報告。環境整備課から地球温暖化対策実行計画説明や栗田伸一さん(上中田)の実践報告も行われ、再エネへの理解を深めました。なお、4月から金山中学校部活棟で、第4土曜午後「再エネ体験コーナー」が開設されます。



▲活動報告を行う水戸部秀利理事

三枝地区の未来を描く ワークショップを開催

2月15日、三枝地区公民館で三枝地区(柴田昭英区長)主催の「三枝のこれからを語り合おうワークショップ」が開かれ、住民約40人が参加しました。4つのグループに分かれ、「地域の魅力・宝物の掘り起こし」、「課題・問題の抽出」、「将来に望むもの」をテーマに熱心に協議。活発な意見交換を通じて地域の現状と未来への思いを共有しました。今後はさらに参加の輪を広げながら、より良い地区づくりに向けた検討を継続していく予定です。



▲ワークショップで意見を出し合う参加者